

令和2（2020）年度 公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画

I 基本方針

令和2（2020）年度においても、次代を担う子ども及び青少年の福祉の増進に資するとともに、県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与するため、子ども及び青少年が健やかに成長できるための青少年健全育成事業、芸術性・公共性の高い文化振興事業、埋蔵文化財の調査研究・保存・普及啓発事業などを、相互の連携のもとに展開し、公益財団法人として、より公益性を意識した事業展開を進め、地域社会に貢献していく。

特に総合文化センターは、1年半にわたる大規模改修工事が完了し、4月1日より全館リニューアルオープンする。それに伴う記念事業の開催や新たな施設の利用促進など、県民の皆様により快適に新しい施設を利用いただけるよう務めていく。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の影響が、総合文化センターのみならず全ての事業所及び施設の運営に波及している。そのため、感染症対策はもとより県民をはじめとする全ての利用者の安全・安心を最優先に、事業運営・施設管理に取り組んでいく。

II 主要事業内容

1 青少年健全育成事業【栃木県青少年育成県民会議事業】（公益事業1）

《主な事業》

(1) 市町村民会議との連携強化・住民啓発促進に関する事業

県内全市町に設置された青少年育成市町村民会議との連携強化に努め、市町における青少年育成活動の活性化を促進するとともに、青少年育成に関する情報を発信し、住民の青少年育成に対する関心を高めていく。

- ア 青少年育成市町村民会議支援
- イ 青少年育成指導員活動支援
- ウ 広報啓発
- エ 青少年育成団体連携

(2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

青少年が主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業を実施し、社会的に自立した青少年の育成を図る。

- ア 少年の主張発表大会
- イ 青少年育成県民会議表彰
- ウ 子ども読書活動推進事業
- エ 生き生き体験活動
- オ 親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～
- カ とちぎネット利用アドバイザー養成講座

キ とちぎネット利用アドバイザー フォローアップ研修【新規事業】

(3) 「とちぎ 心のスクラム県民運動」推進事業

青少年育成県民運動の一層の連携と推進を図るため、県や市町、教育委員会、県警など関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図る。

ア 「県民のつどい」開催

イ 「家庭の日」推進（「家庭の日」絵日記コンテスト等）

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業（公益事業1）

子どもの科学への関心を高める魅力的な事業展開を図り、科学技術普及啓発施設としての役割を果たすとともに、大型児童館として児童健全育成活動を実施し、学校や児童館との連携を強化、県内児童館への技術指導を行うなど実践的な活動を行う。

《主な事業》

(1) 展示場の運営および各種教室の実施に係る事業

ア 展示場等の運営

展示品の解説、各種ショー、団体オリエンテーションなどを実施する。

イ 企画展の開催

a 第77回(夏)企画展「科学館がおまつり2020」（仮）

○期日 7月23日（木）～8月30日（日）

○内容 幼い子どもから大人まで楽しめる「まつり」をテーマにした企画展を実施。縁日の金魚すくい、射的、わなげ、などの中にある物理現象や面白さを科学する。楽しい体験を通して、原理、しくみを科学の視点で解明する。

b 第78回(春)企画展「わくわく文房具展」（予定）

○期日 3月20日（土）～4月7日（水）

○内容 身近な文房具には、たくさんのアイデアや科学の原理がかくれている。文房具や道具の秘密を紹介。あたらしい文具やめずらしい文具を体験したり、昔ながらの文具を使う体験イベントなどを実施。

ウ 科学技術コンクール ―ロボット・チャレンジ 2020―

期日 10月31日（土）

対象 中学生・高校生ほか

内容 ものづくりの機会の少なくなった青少年を対象に、自作ロボットの競技会を行う。

エ 各種教室の実施

「科学工作教室」、「ミニ工作」、「電子顕微鏡教室」、「移動科学教室」、「科学フェスティバル」などを年間を通して実施する。

(2) プラネタリウム及び天文台の利用に係る事業

ア プラネタリウムの投影

話題の天文現象や最新の宇宙科学など、一般向け番組を4本、年少向け番組を2本投影する。

その他、天文学習支援をねらいとした「学習番組」、天文現象やテーマに沿った「特別番組」などを投影する。

イ 天文台の利用

「星をみる会」を24回、「天文台公開」を22回実施する。

また、「夏の大三角」等を観察するための「天文教室」を3回実施する。

ウ その他天文普及活動

天体観察に役立つ「天文工作教室」を2回実施する。

(3) 児童厚生施設としての利用に係る事業

ア 体験・育成事業

子どもたちの健全な育成を図るため、「遊びの世界」でのあそびのプログラムをはじめ、子ども同士の交流を促進する「おしごとラボ」や「とり+かえっこ」、子育て支援のための「まめっこタイム」などの事業を実施する。

イ 県内児童健全育成団体等への援助・指導、連絡調整等の事業

「あそびの出前」等の事業、「児童館フェア」の開催、また、県内児童館・放課後児童クラブへの情報提供及び児童館職員等の資質向上のための研修事業、栃木県児童館連絡協議会事務局としての県内児童館への活動支援や連携の強化事業など、県内各種児童健全育成団体等への援助を行う。

ウ 乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理

変わり種自転車の貸し出し、ミニ機関車の運行とそれらに係る事務手続き及び点検・整備等の実施、並びに屋外遊具の安全点検を実施する。

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業（公益事業1）

栃木の子どもたちに海の自然や文化に触れさせる「海の分教場」、県民に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」としての役割を果たすとともに、「とちぎの海のふるさと」として青少年の健全育成と生涯学習の振興を図る。

《主な事業》

(1) 臨海自然教室事業（5～1月下旬 原則として学校の通常の授業日）

栃木県の小学5年生を対象に、海辺での集団宿泊や自然活動など、様々な体験的な学習を教育活動の一環として実施する（「海の分教場」としての重点事業）。

活動プログラムの提供を行うとともに、実施にあたっての指導助言などを行うことにより、安全に有意義な体験活動が行えるよう支援する。

(2) 各種団体受入事業（年間随時）

県内外の学校教育・社会教育団体や企業等を受け入れ、研修、交流活動、家族の触れ合い活動等を支援する。

施設・備品等の貸出しや活動プログラムの提供・活動に対する助言を行うことにより、安全に有意義な生涯学習活動が行えるよう支援する。

「平和の祭典 オリンピックイヤーに贈る『声明×グレゴリオ聖歌(ミラノ大聖堂聖歌隊)』～東西の祈りの融合」

「ショパン国際ピアノコンクール入賞者ガラコンサート with ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団～5年に一度のショパンコンクール覇者の演奏をとちぎで！」 ほか

イ 共催事業

本物の芸術を子ども達に キエフ・クラシック・バレエ『白鳥の湖～全2幕～』
劇団四季 ミュージカル ほか

(2) 栃木県補助金等による文化事業

ア 鑑賞型事業

栃木県総合文化センターリニューアルオープン記念事業

「～とちぎから世界に羽ばたくチェリスト～宮田 大 チェロ・リサイタル」

「林 真理子の 劇場で愉しむ『オペラ』なるもの ～とちぎが誇る全国音楽コンクール『コンセール・マロニエ 21』入賞者ととともに～」 ほか

イ とちぎ舞台芸術アカデミー（参加創造交流型文化事業）

a【音楽部門】

第25回『コンセール・マロニエ 21』（木管楽器部門）

第15回『栃木県ジュニアピアノコンクール』

学校訪問演奏会『音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！』

（塩谷南那須・那須地区）

ほか

b【舞踊部門】

第25回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー留学生オーディション

ほか

（34事業68公演）

6 埋蔵文化財の保護及び調査研究に関する事業（公益事業3）

埋蔵文化財の保護及び調査研究を行うとともに、栃木県埋蔵文化財センターの管理運営及び事業を実施する。

《主な事業》

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業

栃木県及び国、県内市町の委託を受けて、開発地内等の埋蔵文化財の発掘調査事業を実施する。

※ 発掘調査及び整理作業予定件数 11件

ア 栃木県からの受託事業

- ・重要遺跡等範囲確認調査／本沼窯跡群（益子町）
- ・道路整備事業／城ノ内遺跡（上三川町）
- ・農地整備事業／小泉分校裏遺跡（益子町）ほか

イ 国からの受託事業

- ・栗宮宮内遺跡（小山市）

ウ 市町からの受託事業

- ・ さくら市遺跡詳細分布調査（さくら市）
- ・ 荒井館跡・水口龍泉寺跡・船山遺跡（大田原市）
- ・ 四十八塚古墳群（佐野市）

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理運営及び保存活用・普及啓発事業の実施

栃木県からの委託を受け、埋蔵文化財センターの施設維持管理を行うとともに、埋蔵文化財の保存・活用及び埋蔵文化財についての知識の普及に関する事業を行う。

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

遺物・図面・写真等の貸出しや「埋蔵文化財センターだより」（年2回）・「壁新聞」（年1回）を発行する。「とちぎ発掘調査成果情報誌」（年1回）を発行する。

イ 埋蔵文化財に関する普及・啓発

発掘調査報告会、現地説明会及び史跡見学会の開催、学校等の施設見学及び出前授業、埋蔵文化財センターの特別公開、常設展示及び特集展示、3館連携テーマ展示、県庁本館ミニ展示、各種講座の開催等を通じて、広く県民に埋蔵文化財保護の重要性やその保存・活用についての理解、関心の向上に努める。また、市町資料館等と連携し、地域の遺跡・出土品を活用した事業等の支援を行う。

ウ 研修

市町埋蔵文化財担当者保存処理研修会を開催する。

教職員・生涯学習担当職員を対象とした埋蔵文化財活用のための基礎講座及び展示解説等のためのボランティア養成講座を実施する。

エ 埋蔵文化財に関する出土品の保存処理

オ 埋蔵文化財に関する出土品の資料管理

(3) 図書の刊行頒布事業

埋蔵文化財発掘調査報告書等、埋蔵文化財の調査や普及啓発に関する図書類を刊行頒布する。

7 栃木県総合文化センター管理運営事業（収益事業）

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの施設管理及び利用者サービス事業等を行うとともに、広く県民の文化振興を推進するため、県内各種芸術文化団体・公立文化施設等とのネットワークを活かして、同センターを活用した文化振興事業等実施の支援を行う。

今年度は、1年半にわたる大規模改修が終了し、メイン・サブホールからなるホール棟が4月1日にオープンする。ホール棟オープンにより全館利用が再開することから、施設利便性を一層向上させ、併せて収益の増加を図っていく等の取り組みを強化していく。

《主な事業》

(1) 施設利用受付業務

ホール、ギャラリー、会議室、各種練習室等の貸出しを行う。

(2) 利用者サービス業務

催し物案内の発行、ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広報活動を行う。

また施設利用に関する助言のほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施する。

(3) 施設の維持管理業務

快適な館内環境の維持や、設備・備品等の管理を行う。

また、来館者の安全を守るため、防災設備等の保守点検及び消防訓練等を実施する。

(4) 大規模改修後の対応

大規模改修により改善された各施設・設備について、改善内容を活かした施設運営等を図り、利便性の一層の向上に努めていく。

8 生涯学習の振興に関する事業

財団主催事業として、県民の学習ニーズに合わせて当財団のソフト・ハードを活用して開催する講座等を、「栃木県民カレッジ」に登録し、広く県民に学びの場を提供する。